

4月6日(木曜日) 水路の岸を杭で仮止めする

【参加者：池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、中

7名】



雨を心配していたが、明け方には上がり、活動時には青空も見えてきていた。

散策路に沿ってコバノミツバツツジが咲き始めてい

たので、来週には満開になり、森林公園を訪れる人たちの目を楽しませてくれるだろう。

花菖蒲園横の水路の岸が一部崩れていたのを補修することにした。越智さんが松の板を提供してくれるということなので、板で岸を固めるか、杭を隙間なく打ち込んで直すか、後日みんなで相談しようということになり、今日のところは杭で仮止めをした。花菖蒲園外側の通路にかけてあった丸太の腐食も進んでいたのを新しいものと交換した。

4月13日(木曜日) 水路の岸の補修と花菖蒲園の草刈り

【参加者：池本、越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

9名】



今日も快晴。気持ちのいい作業日和である。あちらこちらにウワミズザクラが穂上に白い花を咲かせていた。

先週仮止めをしておいた、水路の補修作業を行った。板を適当な長さに切り杭で固定したので土砂の流出を防ぎ岸を保護してくれると思う。

この後、先日の小川の橋の付け替えで出た腐食した丸太を燃料にするため軽トラで運んだ。並行して、6月の開花を楽しみに花菖蒲園の草刈りを行った。



4月20日(木曜日)

公園の境界線巡りに出発!

【参加者:越智宏、梶川、木谷、芝田香、芝田美、鈴木哲、鈴木明、中

8名】



サブコテージ駐車場奥の階段から出発!



境界線の標石をたどりながら進む



陽だまりにはハルリンドウが群生



太い倒木が横たわる



境界線の道をふさぐ細い倒木や枝、木に絡みつくいバラの蔓などを取り除く



伸び放題のササをかき分けながら

1年に1回、境界線巡りをしてその状況を調査し、少しずつ手入れを行ってきている。数年前に草刈りをして以来していなかったもので、ササが伸び放題になり、境界線の道はかなり荒れていた。そのこともあり、途中道を見失い、道なき道を行くようになってしまった。やっと中電・関電の線下伐採されたところにたどり着き、居場所を確認することができた。そこからは迷わずに進めたが去年より30分近く時間がオーバーしてしまった。しかし、新緑の中の楽しい山歩きであった。境界線の草刈りをしていこうということになった。



開けたところに出て一安心

4月27日(木曜日)サギソウ園にキバネツトンボが!

【参加者:池本幸、越智宏、越智美、梶川、木谷、芝田香、芝田美、杉、鈴木哲、鈴木明、濱田

計11名】



新緑に包まれてよく晴れた気持ちのいい朝であった。

来園者よりサギソウ園の奥で、キバネツノトンボが羽化しているという情報が入り見に行った。体長3~4cmほどで黄色の羽を伸ばしかわいい角を出していた。10匹近くがにぎやかに飛び交っていた。森林公園のサギソウ園は、絶滅危惧種の昆虫であるキバネツノトンボの県内有数の生息地となっている貴重な場所である。トンボという名が付いているがカゲロウの仲間だそうである。

モリメイトフィールドを流れる小川に大きな石柱(20cm四方で長さは岸に食い込んでいるため不明)が埋まっていて小川を堰き止め、流れにくくしているのので取り除くことにした。脚立でやぐらを組み、チルホールで引っ張るが脚立の足が土に食い込みびくともしなかった。このまま続けると脚立が壊れそうなので諦めることにした。

花菖蒲園の手入れをして今日の作業を終えた。

